

平成 30 年度第 3 回牧之原市指定管理者選定委員会 議事要点録	
日時	平成 30 年 10 月 22 日（月）午前 9 時 00 分～午前 11 時 10 分
場所	牧之原市榛原庁舎 4 階会議室
出席者	<p>（委員）寺田委員、菊間委員、鈴木委員、知久委員、竹内委員、小泉委員、阿部委員、小関委員、石井委員、小栗委員</p> <p>（事務局）大石福祉こども部長、櫻井社会福祉課長、植田高齢者福祉課長、松下管理情報課長、河原社会福祉課係長、畑社会福祉課主査、榛葉高齢者福祉課係長、福代高齢者福祉課係長、本杉高齢者福祉課総括主任、原口管理情報課係長、高橋管理情報課主事</p>
議題	<p>1 開 会</p> <p>2 協議事項</p> <p>（1）最終協議</p> <p>（2）採点</p> <p>（3）集計</p> <p>（4）集計結果の配付</p> <p>3 閉 会</p>
	<p>（1）最終協議 ※括弧内は回答</p> <p>・各法人等より提出された財務諸表を精査したうえで委員より意見が述べられた。</p> <p>・高齢者福祉施設の【4-4 安定した運営】で提出された書類では法人全体で 2 法人とも多くの施設数持っているが、法人全体の施設の規模がどんなものがあるのかわかりかねるので、それが実際に適切な人数なのかどうかを検討するのに悩んだ。（やまばと学園については特別養護老人ホームとか地域密着施設とかデイサービスセンター等をやっている。市の方で適切な人員配置ができていないかは指導監査や報告で行っているため、人員配置については問題ない。社会福祉協議会についてもデイサービスセンターや地域福祉の推進母体である社会福祉協議会等で行ってもらっているため、デイサービスセンター等については適材適所の人材を配置している。介護職員の人材不足によって正規職員が減っている現状があるが、人数においては問題なく運営を行っている。）</p> <p>・高齢者福祉施設の【4-4 安定した運営】は、資料では法人全体のことはわからないので、担当課で決めてもらいたい。基準としては、3 は全施設で法定の人数を満たしている。4 はその人数や体制で常に問題なく対応している。重度な方が入ると人数が足りなくなるという問題がないという全施設の情報を担当課で聞いている。最高の 5 は人数自体法定を上回っているなどの余裕があること。その情報をどのくらい担当課で聞いているかで判断してほしい。（高齢者福祉施設では法定以上の基準を満たしていて、退職や急に辞められた時の対応としてそこに人材を配置しているということで、担当課としては 4 が適切だと思う。）</p>

・障がい者福祉施設の【3-4 災害対策】でマニュアルは整備されているのか。(つくしの家では手順書を作成している。毎月訓練を実施している。施設の中に何かあったらこうするというような張り紙を貼って職員の動く体制が整っている。)

・障がい者福祉施設の【4-3 市へ報告、連絡、協議体制】でつくしの家とつくしホームは細かく資料に記載があるが、こづつみ作業所は「報告書を提出しています。」とだけなので、他に報告はされているのか。(つくしの家とつくしホームと同じように指定管理の報告を年度初めに報告書を提出してもらっている。施設の修理が必要だとか、ネットワークづくりの会議で状況を聞いている。報告書以外にも適宜必要なことがあれば、そのような場で所長と対話している。)

(2) 採点

各委員が指定管理申請書や現地調査等を踏まえ採点を実施した。

(3) 集計

評価表を事務局にてパソコン入力し集計作業を実施した。

(4) 集計結果

生きがいガーデンこにたの指定管理の候補者として社会福祉法人 牧ノ原やまばと学園を、相良いきいきセンターの指定管理の候補者として、社会福祉法人 牧之原市社会福祉協議会を、つくしの家・つくしホーム・こづつみ作業所の指定管理の候補者として、社会福祉法人 一羊会をそれぞれ選定した。

～第3回牧之原市指定管理者選定委員会終了～